定点医療機関あたりの患者数

【週報】※１

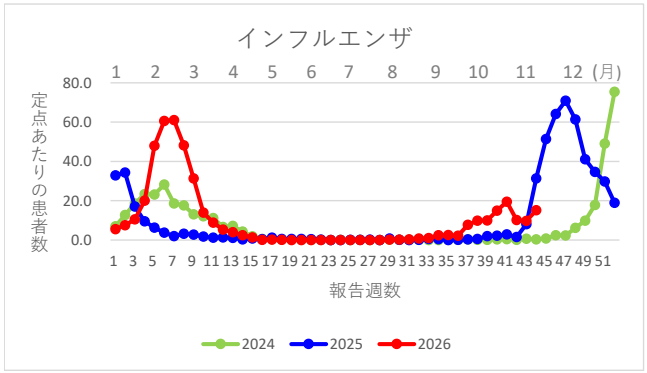
週数	インフルエンザ	COVID-19	急性呼吸器感染症（ARI）	ＲＳウイルス感染症	咽頭結膜熱	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎
第40週（2026/9/28～2026/10/4）	15.00	1.11	103.78	0.60	0.40	1.20	2.20	0.40	4.20	0.00	0.20	3.00	0.00	0.00	0.00
第41週（2026/10/5～2026/10/11）	19.44	0.67	114.67	0.40	0.00	2.00	2.60	0.40	4.00	0.00	0.80	3.00	0.00	0.00	0.00
第42週（2026/10/12～2026/10/18）	10.22	0.89	95.22	1.00	0.60	1.60	0.80	0.00	4.40	0.00	0.60	1.40	0.20	0.00	0.00
第43週（2026/10/19～2026/10/25）	9.78	1.22	100.67	0.20	0.40	1.20	1.60	0.00	2.80	0.00	0.40	1.00	0.20	0.00	0.00
第44週（2026/10/26～2026/11/1）	15.22	0.56	92.56	0.60	0.60	1.60	0.40	0.40	2.60	0.00	0.00	1.40	0.00	0.00	0.00

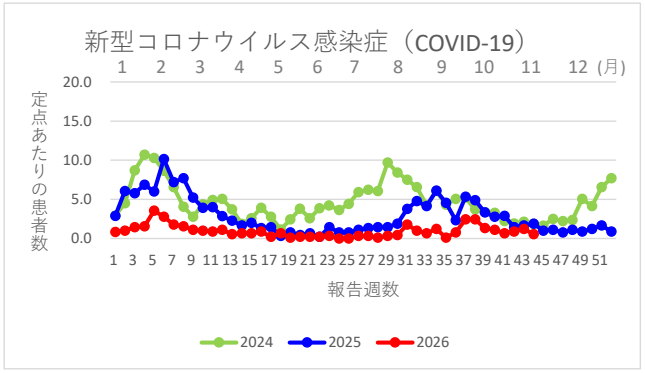
（参考）警報、注意報警報レベル　※２

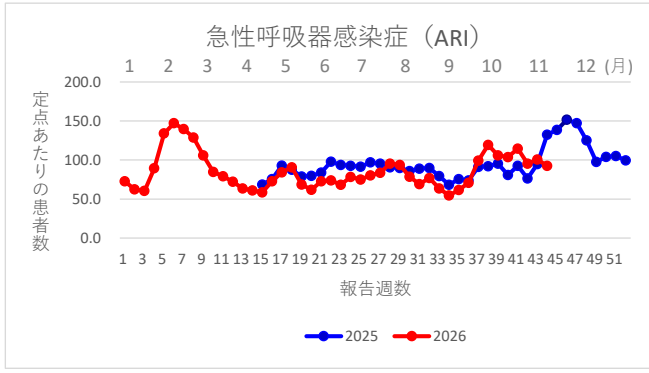
警報レベル開始基準値	30.0	—	—	—	3.0	8.0	20.0	2.0	5.0	2.0	—	6.0	6.0	1.0	8.0
警報レベル終息基準値	10.0	—	—	—	1.0	4.0	12.0	1.0	2.0	1.0	—	2.0	2.0	0.1	4.0
注意報レベル開始基準値	10.0	—	—	—	—	—	—	1.0	—	—	—	—	3.0	—	—

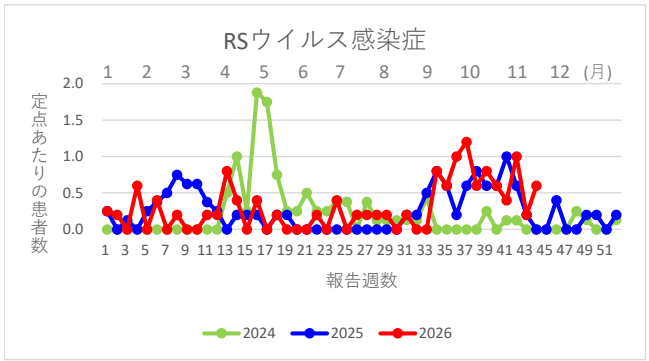
※１　定点医療機関あたりの患者数【週報】とは、市内協力医療機関で1週間に診断された患者の平均数です（急性呼吸器感染症については、症例定義に一致した患者の平均数）。
市内協力医療機関数は、急性呼吸器感染症（ARI）定点9、小児科定点5、眼科定点2となっています。

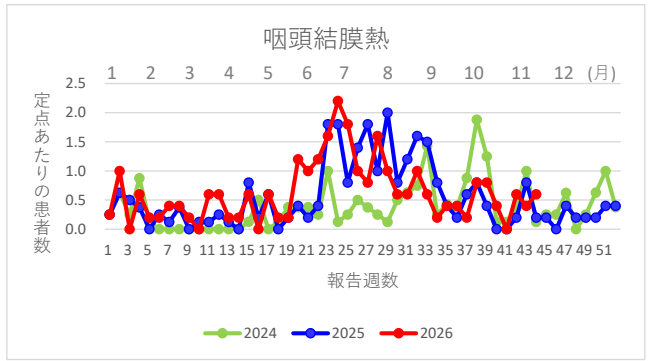
※２　警報レベルは大きな流行が発生または継続しつつあると疑われることを指します。また、注意報レベルは流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高いこと、
流行の発生後であれば流行が継続していると疑われることを指します。

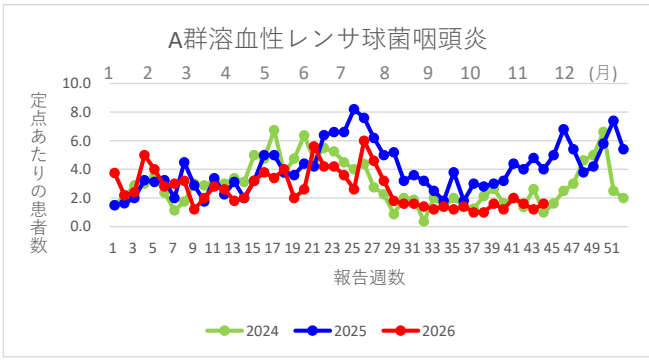


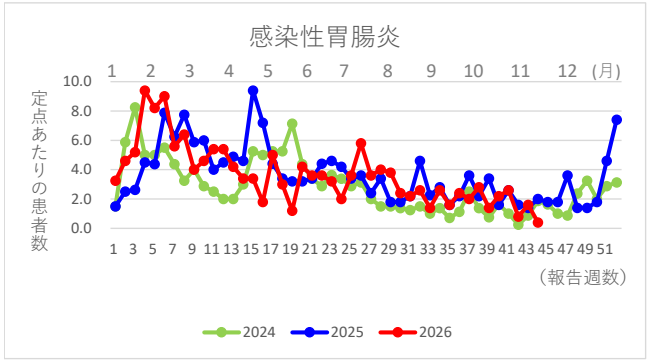


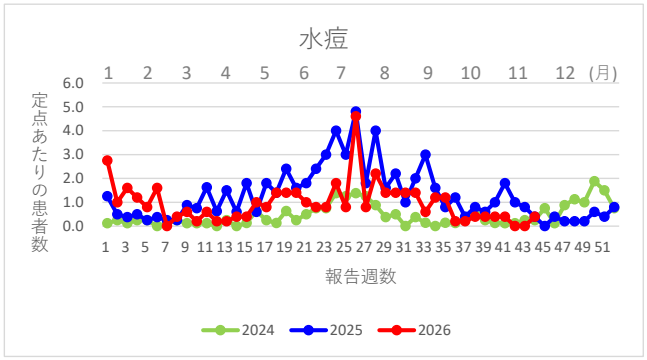


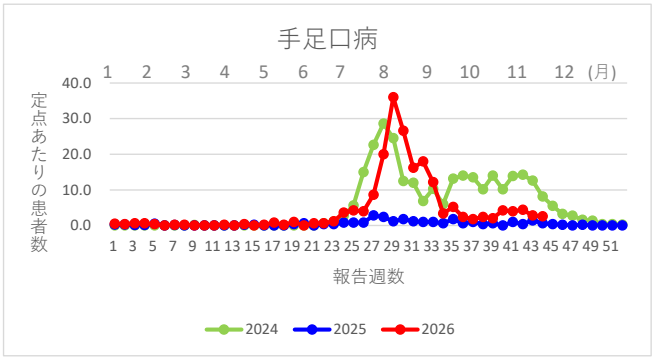


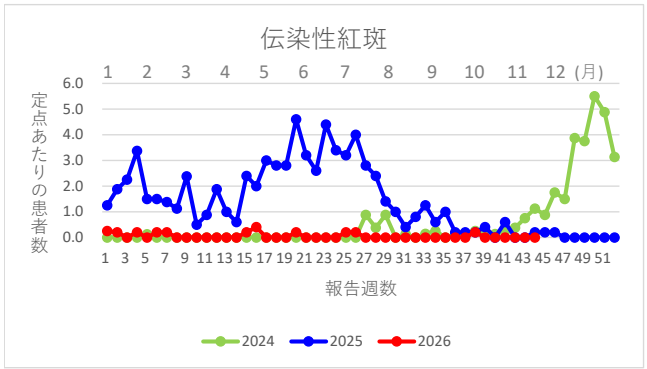


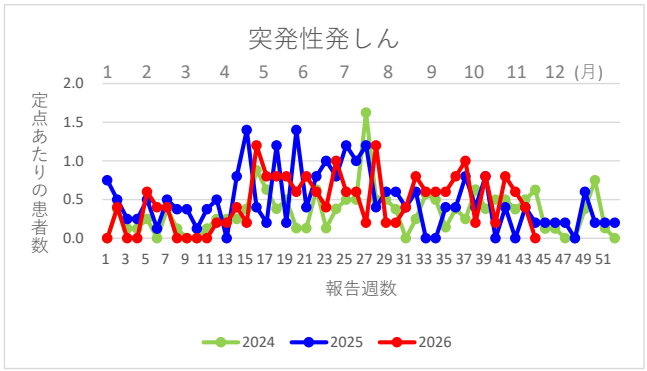


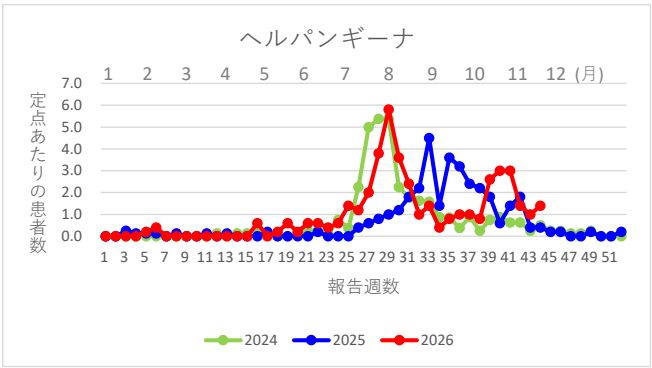

感染性胃腸炎
定点あたりの患者数
(報告週数)
2024
2025
2026

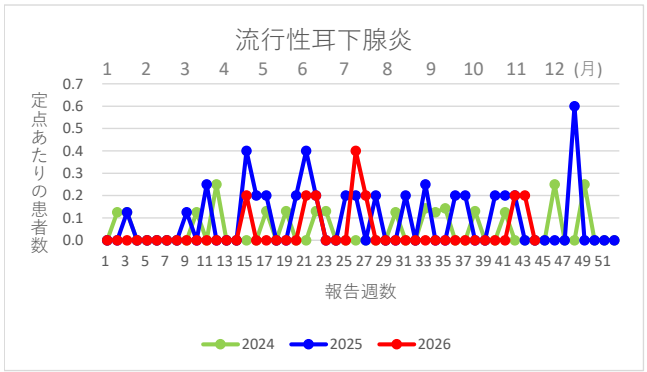

水痘
定点あたりの患者数
報告週数
2024
2025
2026

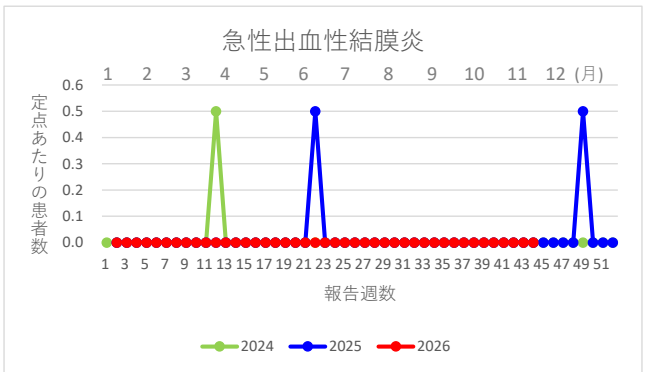

手足口病
定点あたりの患者数
報告週数
2024
2025
2026

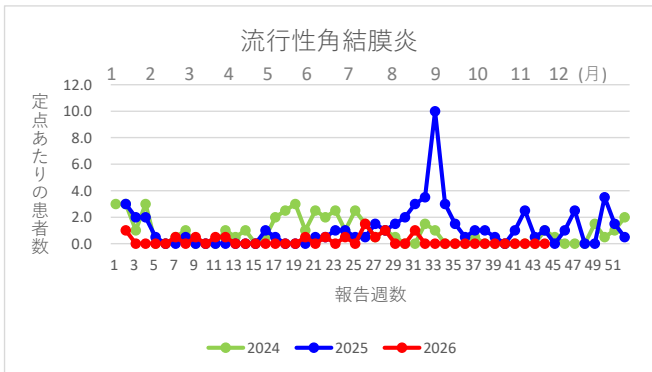

伝染性紅斑
定点あたりの患者数
報告週数
2024
2025
2026


突発性発しん
定点あたりの患者数
報告週数
2024
2025
2026


ヘルパンギーナ
定点あたりの患者数
報告週数
2024
2025
2026


流行性耳下腺炎
定点あたりの患者数
報告週数
2024
2025
2026


急性出血性結膜炎
定点あたりの患者数
報告週数
2024
2025
2026


流行性角結膜炎
定点あたりの患者数
報告週数
2024
2025
2026

【月報】※３

月	性器クラミジア感染症	性器ヘルペスウイルス感染症	尖圭コンジローマ	淋菌感染症
2026年7月	1.67	0.33	1.00	0.67
2026年8月	2.33	0.67	0.33	0.67
2026年9月	2.00	0.67	0.33	0.33
2026年10月	1.67	0.67	0.67	0.33

※３　定点医療機関あたりの患者数【月報】とは、市内協力療機関で1ヶ月に診断された患者の平均数です。市内協力医療機関数は性感染症定点３となっています。

